

中国農村部における高齢者の生活満足度及び影響要因に関する研究¹

孔擎暉・楊非凡・聶海松
(東京農工大学大学院・環境地域社会学研究室)

研究背景

『中国経済と社会発展統計公報』によると、2019 年末における中国（香港、マカオ、台湾除く）の 60 歳以上の人口は 2 億 5,000 万人に達し、その約 60% は農村部に分布している。その中国農村部においては、都市部と比較した経済水準の低さ、未整備の生活インフラ、若年人口の流出などの問題が顕在化している。また 55～79 歳の農村部自殺者数は、同年齢の都市部住民の約 2.4 倍となっており²、更に自殺と生活満足度との間には著しい相関関係がある³。しかし、上述した生活満足度に関する研究は、都市部や、都市部と農村の比較研究としては多く実施されているものの、中国農村部のみに焦点を当てた研究は少なく、未だ不十分であると言える。

研究目的

以上の背景を踏まえて本研究では、農村部に住む高齢者の生活満足度に優位な影響を与える要因を、順序 Logistic モデルによって解明することを目的としている。

研究仮説

- (1) 中国農村部に住む高齢者は生活満足度が低い傾向がみられる。
- (2) 世帯年収が低いほど、農村部に住む高齢者の生活満足度は低くなる。
- (3) 農村における文化活動に対する満足度が低いほど、生活満足度も低くなる。

研究方法

本研究においては、経済水準や地理的条件などの要因を考慮し 7 つの省を選び、農村部における 60 歳以上の高齢者を対象とした面接意識調査を実施する。その後、得られたデータを統計解析によって分析する。

- (1) 記述的統計分析：主に人口学的属性、生活環境、経済環境、社会的支援及び生活満足度に関する一般的な環境の説明と簡単な比較に用いられる。
- (2) 単一要因分析：カイニ乗の独立性テストによって生活満足度を比較し、特徴の異なる高齢者に差異があるか否かを分析し、統計学的に有意な差があるか確かめる ($P < 0.05$)。
- (3) 順序回帰分析：次に示すモデルを用いて分析を行う。
$$\text{Logit}(\theta_j) = \alpha_j - \sum_{i=1}^k (\beta_i x_i)$$

研究結果

回答者は 1305 人であり、有効回収率は 84.8% であった。

- (1) 中国の農村部に住む高齢者の生活満足度は、仮説として想定していた数値よりも高かった。
- (2) 生活満足度と主観的収入評価の間には正の相関関係が見られたが、生活満足度と世帯年収の間には有意な関係性は見いだせなかった。また世帯年収は生活満足度に間接的な影響を与えると推測される。
- (3) 文化活動に対する満足度と生活満足度には正の相関関係がみられた。

¹ 本研究は JSPS 科研費 JP18K12923 の助成を受けたものです。

² 劉肇瑞、黄悦琴、馬超ら。2002 年から 2015 年までの中国の自殺率の推移。中国心理保健雑誌。2017; 31(10): 756-767.

³ 賈存頭、李士保。生活満足度と自殺企図との関係。中国公衆衛生。2008; 24(6): 700-702.